

令和3年度 第1回 見附市まちづくり総合会議 議事概要

I. 開催日時 令和4年3月25日（金）午後2時00分～午後3時35分

II. 開催場所 見附市文化ホールアルカディア 小ホール

III. 出席委員 渡邊誠介会長、坂田政元副会長、高木信行委員、八子門委員（ZOOM参加）、西脇一樹委員、藤嶋弘美委員、佐藤美千代委員、三本由美子委員、木原由美子委員、小田野寛栄委員、渡辺美絵委員（11名出席）

IV. 会議の概要

1. 開会

2. 市長あいさつ

【稲田市長】

日頃より、見附市のまちづくりに多大なご協力をいただき、まことにありがとうございます。会議の開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから2年余りが経過しました。本県では、今年初めからの第6波に対する「まん延防止等重点措置」が3月6日をもって解除されましたが、感染者数は依然として高い水準が続いており、警戒を解けない状態です。これまで同様、日頃の感染対策の徹底を呼び掛けるとともに、ワクチン接種の加速化はもちろんのこと、長引くコロナ禍によって深刻な影響を受ける地域産業への支援としてプレミアム付きのクーポン券の発行などに取り組んでいるところです。

さて、これまで見附市では、「スマートウェルネスみつけ」を旗印に、全国の自治体の見本となるような様々な施策にチャレンジし、第5次見附市総合計画で描く基本構想の一端が着々と目に見える形になってきていると感じています。市民アンケートの結果からも、「まちの魅力」や「住みよさ」などに関する項目で、市民の皆様から一定の評価がいただけているものと考えています。

その一方で、全国的に進む人口減少への対策、地場産業の活性化、地域医療の充実、子育て環境の整備など、コロナ以外にも、まだまだ解決すべき課題もあり、計画的に取り組んでいかななくてはなりません。

昨年度に策定された「第5次総合計画の後期基本計画」には、市民の皆様にも浸透している「スマートウェルネスみつけ」をはじめ、時代の新しいニーズをとらえた「SDGs 未来都市」、

「Society5.0」という3つの視点から目標整理がおこなわれました。今後の市政においては、この視点を継承しつつも、必要な施策と見直すべき施策をしっかりと見極め、常に実情を反映させていく必要があります。

私は先の選挙戦から、『まちと産業の元気』や『子育て・教育』をはじめとする7つの柱によって、「暮らし満足No.1のまち」を目指すことを公約に掲げてまいりましたが、就任からの取り組み

によって、まちづくりの主役である市民の皆様からの声をお聞かせいただき、市民と行政が一緒になって議論していくことの大切さを改めて実感しているところです。

「まちづくり総合会議」は、この「第5次見附市総合計画」といったまちづくりの指針となる重要な計画について、その進捗評価や検証をおこなうための会議です。本日は前期基本計画の最終年度までの実績や健康づくり推進計画の指標変更などについてご意見をいただくほか、関連計画の進捗などを報告させていただく予定です。市政運営の適正化を図り、スピード感をもってまちづくりを進めるためにも、皆様におかれましては、活発にご議論くださるようお願い申し上げます。

最後に、大変お忙しいなか、見附市のまちづくりにご協力くださる皆さまに、心から感謝を申し上げます、挨拶といたします。

3. 会長挨拶

【渡邊会長】

コロナ禍にあって、日本中、世界中が大変なところではあるが、ある意味では悲惨な状況にはなっていない、我々も頑張っているところで、早くこの状況から脱出できるよう日々過ごしていきたいと願っている。

本日は稲田新市長をお迎えしてから初めてのまちづくり総合会議である。全国に多くの行政体がある中で、KPIをしっかりと持って進捗状況をここまでしっかりモニタリングしている見附市と同規模の自治体というのは、そう多くはない。市民、行政、担当者の皆が一体となって進捗状況をモニタリングして計画が目標通り向かっているかしっかりと見ながら、そういう意味でこの会議に関わる我々も、まちづくりに参加しているのであり、活発なご議論、ご提案をお願いしたい。

4. 委員自己紹介

（委員名簿の配付および事務局の説明により省略。事務局から欠席委員を報告。）

【事務局】

委員の過半数が出席していることから、見附市総合会議設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告する。

5. 議事

（設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ）

（1）第5次見附市総合計画の進捗状況について

【事務局】

（資料1・2－1・2－2・2－3）にもとづき説明

【渡邊会長】

コロナの影響で評価のしかたを変えているわけだが、一方でコロナを加味せずに単に結果と目標を比較して評価するという方法も考えられるところで、今回の評価のあり方はこれでよいか。

《異議なし》

それでは、前期基本計画の最終評価の状況については事務局案のとおりでよいものとする。

次に、人口ビジョンについて、全国的には人口減少が大きく進む中であって、見附市は減少しながらも非常に健闘しているものと専門的な立場からは言えるが、出生率や年代別のデータについて説明があった中で、意見や感想などいかがか。

【坂田委員】

住宅が多くできて、若い夫婦が転入してきたことにより 25 歳から 29 歳くらいの年代の女性に社会増が生じたものという理解でよいか。

【事務局】

住宅を理由とした転入増加は、委員のお見込みのとおり、市内の住宅造成地に若年層が新築して世帯で転入してきた方が多かったことが社会増の大きな要因であると考えている。

【坂田委員】

出産の増加する要因とも考えられるが、以前から言われているように市内には産婦人科がなく長岡で出産するという流れがあると思うが、今後、産科や婦人科を誘致する予定などはあるのか。

【事務局】

クリニックを誘致したいと考えており補助金を用意している。私どもが求めている診療科である小児科、心療内科、産婦人科などの場合は 1,000 万円まで、それ以外の診療科、例えば外科などであれば 500 万円までといった制度で、インセンティブをつけて誘導している。先般の新聞報道にもあったように、民間のクリニックが新たに 3 つの診療科を開設するという記事があったが、産婦人科についてはまだ名乗り出がない状況である。

【坂田委員】

産婦人科に限らず、小児科ができるだとか、新しい団地ができるということには期待しているが、その予定地近辺には高齢世代も多く買い物などに訪れると思うので、その辺りの誘致もぜひ進めていただけるよう期待したい。

【佐藤委員】

出生数という統計の基準を少し教えていただきたい。先ほど、転入により母の人数が増加しているという分析を示されたが、自分の周りにも子連れで転入する人もいれば妊婦として転入する人も結構いる印象がある。そこからすると示されている出生数が少ない感じがするが、その辺りを説明いただきたい。

【事務局】

出生数については、事実に基づくデータとして皆様にお示ししており、ビジョンの目標を達成できていない状況にある。世帯に子がいる方、妊婦の状態で転入する方など、それぞれの状況が考えられるが、統計的に数値として集計結果を示すとこのようになる状況である。

合計特殊出生率にあるように、各世代の女性1人当たりの出産人数を指数として表すと、遡った時代から比べると近年では大きく減少しており、総合的に今日の少子化の進展という結果に表れていると考える。

【渡邊会長】

他に無いようなので、人口ビジョンについては、事務局案のとおりでよいか。

《異議なし》

異議なしと認め、人口ビジョンについては、事務局案のとおり承認するものとする。

【渡邊会長】

それでは、議事1については、事務局案のとおり承認することとしてよいか。

《異議なし》

異議なしと認め、議事1については事務局案のとおり承認するものとする。

(2) 健幸づくり推進計画の指標の変更について

【事務局】

(資料3-1・3-2・3-3・3-4)にもとづき説明

【渡邊会長】

事務局の説明に対して、質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

無いようなので、議事2については事務局案のとおり承認することとしてよいか。

《異議なし》

異議なしと認め、議事2については事務局案のとおり承認するものとする。

6. 報告

(1) 第一期見附市総合戦略の概要および最終評価の説明について

(2) 地方創生関係交付金に係る事業の実施状況について

(3) SDGs 未来都市計画実績報告について

【事務局】 (3案一括説明)

(1) (資料4-1・4-2・4-3)にもとづき説明

(2) (資料5)にもとづき説明

(3) (資料6)にもとづき説明

【渡邊会長】

事務局の３件の説明に対して、質問などがあればお願いしたい。

《なし》

無いようなので、これにて報告事項を終わりとする。

(以降の進行は事務局による。)

7. その他

【事務局】

来年度は総合計画上、通常年度にあたり、通例では初夏の頃と年末近くの１１月または１２月頃の２回の開催となる。開催計画が決まり次第、皆様に別途お知らせする。

委員皆様の任期は２年であり、現委員におかれてはこの３月末をもって任期満了となる。これに伴い、新たに委嘱替えの手続きが必要となるため、どのようなご案内となるかは未定だが、お声かけの際は、ご協力いただけるようお願いしたい。

8. 閉会

以上